

# あなたの森は元気かな？

あなたも森のコンディションをチェックしよう！  
驚異の超簡単4ステップ診断方を公開！

森林所有者向け

## ステップ① 木の太さと本数を図ってみよう！

平均的な場所で、中心となる木を真ん中にして半径5.64mの円を描きます。その円の中にある植えた木の太さを全て測ります。

なんで5.64mなの？

5.64mというのは、とても半端な長さですが半径5.64mの円は、ほぼ100㎡になるためです。後々、森林の健康状態を計算するときに、この大きさはとても便利なのです。

何力所も測って平均した方が、より正確な数値が出ますよ！



5.64m

中心

私が中心よ！

釣り竿を使うと便利だよ！



幹の中心に届かないギリギリの木は測りません！

直径は、高さ1.3mの位置で円周を測り、それを3.14で割ったものです。



ポイント！ 太さを図る高さは1.3mで！

斜面の上で測るのね！

胸の高さね！

木は1.3mの高さで測りましょう。木が斜面に生えている場合は、斜面の上で測るようによろしくしましょう。

全ての木の直径を測ったら、その平均を計算しておきましょう。

直径 (cm)	cm	cm	cm	cm	cm
	cm	cm	cm	cm	cm

直径の合計  ÷ 測った本数  = 平均直径  cm

## ステップ② 木が太れる状態か調べよう！

木は、葉でつくった養分を使って育ちます。木の大きさに比べて葉が少ないと、それ以上太ることが出来ません。

平均直径木  $\frac{\text{枝下高 (m)}}{\text{樹高 (m)}} = \text{ }$

3割以下

0.7

3割以上

ここから下の高さが枝下高となります！

計算した答えが0.7以上、つまり、葉が木の高さの3/10より少ないと、その木はそれ以上太ることができません。

専門用語では **じゅかんちょうりつ 樹冠長率** と言います

## ステップ③ 木が痩せすぎでないか調べよう！

植えた木が「太りすぎる」ことはめったにありませんが「痩せすぎ」は台風などの強い風や雪の重みで折れる可能性が高くなります。

平均直径木の樹高  m ÷ 平均直径  m =

85以上 70以下

この数値は、木の体格を表す数字です。85以上だと痩せすぎで、70以下だと健康に育っています。

これも専門用語では **りんぶんけいじょうひ 林分形状比** と言います

## ステップ④ 木の混み具合を調べよう！

木が込みすぎると日光を求めて上に伸びますが、周りの木にさえぎられて十分に葉をつけられる広さがないため、ヒョロヒョロと細い木になります。

平均樹幹距離  m ÷ 平均樹高  m =

この数値は、木の高さと木の間隔の割合を表す数値です。数値が小さいほど混み合っています。数値は20前後ちょうど良い混み具合です。

100㎡以内の本数	1本	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本	9本	10本
平均樹幹距離	10.0	7.1	5.8	5.0	4.5	4.1	3.8	3.5	3.3	3.2

※計算式は  $\sqrt{100/\text{本数}}$



15以下

20前後

専門用語で **そうたいかんきょ 相対幹距** と言います

### 番外編 木が伸びる仕組み

木が高くなる伸びるのは土地の力（地位）によるところが大きく、木の混み具合の影響を受けにくいです。



### コンディションチェックシート

□良好 □やや不良 □不良  
ステップ②～④全ての項目が適正であれば「良好」、全てははずれていれば「不良」、それ以外は「やや不良」

あなたの森づくりを応援します！

